



このアートボックスは、ご家庭の電子レンジの中に入れてフュージングを行う超小型の窯ですが、ガラスを溶かすために内部が800℃以上の高温になります。ご使用にあたっては次のような点にご注意ください。

1) 使用する電子レンジは、なるべく単機能のものをご使用ください。
ホームセンターで販売されているもので9000円未満のものがオススメです。高級な多機能電子レンジではセンサーが働き途中で止まる、あるいはセンサーが壊れるなどが報告されています。

2) 離型紙(セラフォーム、セパレートペーパー、セラミックペーパーとも呼ばれます)をアートボックスの台座に敷きガラスを載せます。これは溶けたガラスがアートボックスの台座に引っ付くのを防ぐためのものです。モールドを使用の場合は、キルンウオッシュなどをモールドに塗ります。またガラスを重ねる場合は、加熱中にガラスのずれを防ぐ「フュージングのり」などを使いましょう。

3) フュージングするガラスは同じ膨張係数 (COE=Coefficient Of thermal Expansion) のものを使ってください。膨張係数が異なると、出来上がり作品にヒビが入ったり割れたりします。なおフュージングに使われる主なガラスの膨張係数は次の通りです。 90:ブルザイ/ウロボロス 96:ウロボロス/スペクトラム 104:モレッティ 膨張係数が分からない場合は、ご自分でテストピースを作り(=試行錯誤)、合う/合わないをメモしておきます。

4) 加熱(500W電子レンジで10分前後)が終了したらアートボックスをレンジ内に放置せず、速やかに取り出します。熱せられたアートボックスを中に入れたままレンジのスイッチを切るとファンが止まり、熱でレンジが壊れます。電子レンジに入れる時は素手でもよいのですが、取り出す時は熱いので軍手やオープンミトンなどはめてください。

5) 取り出したアートボックスは、園芸用のレンガなど耐火物の上に載せ30分ほど放置します。すぐフタを開けるなどをすると、ガラスが急に冷やされ割れる原因になります。また除冷点でガラス内部のひずみをゆっくり取らないとやはり割れたりしますのでご注意ください。

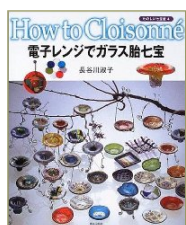
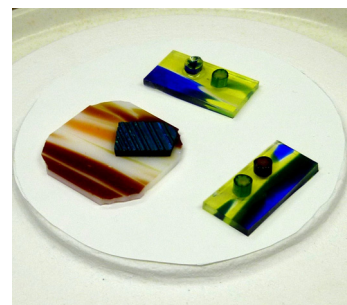
6) 右画像のサンプルは、10分+3分加熱したものです。ご使用の電子レンジやガラス、作るものなどにより加熱時間が異なりますので、イロイロ試してください。

7) 出来上がったピースはペンダント用金具などに付けて楽しみます。接着剤はやせない(肉やせしない)タイプのものでオススメです。商品名ではセメダインスーパーX2 などがこれに相当します。

◆SGS-JPN-SHOP



内寸φ11cmxH45mm



BS-838: ¥1,890-
電子レンジでガラス胎七宝



8865-35-10: ¥900-
セラフォーム35x35cm 10枚



9222: ¥1,450-
フュージングのり



HP-FUSING: ¥3,360-
フュージングを始めよう



8884-HF: ¥1,500-
高温用キルンウオッシュ

4557: ¥525-
手荷物掛け コンパクト



<http://www.sgs-jpn-shop.com>